

北海道ロボット農作業機等実用化普及推進セミナー開催要領

<趣 旨>

本道農業は、経営規模の拡大や働き手の不足を背景に、GPSガイダンスシステムの導入が拡大するなど、全国に先駆けて農業のICT化が進んでいるが、農業生産の効率化、高度な農作業を実現するための研究開発の方向性や農業機械に求められる機能や性能などについて、大きな期待が寄せられている。

このような中、国においては「日本再興戦略」で、ロボット技術の導入により様々な分野における人手不足の解消、生産性の向上などの課題解決に向けて、取り組む方向性が示され、特に、担い手の確保などが課題である農林水産分野でのロボット技術の導入が急務とされた。

そこで、本セミナーでは、これらに関わる国の情勢や道内におけるICTを活用した省力・高精度農作業技術を実現する実証研究の取組状況など、広く関係者に紹介し、革新するロボット農作業機等の実用化・普及を図ることを目的とする。

<日 時> 平成27年3月26日(木) 13:15~16:00

<会 場> かでる2・7 大会議室(4階)

(住所:札幌市中央区北2条西7丁目 電話:011-204-5100)

<テーマ> 「ICTを活用した省力・高精度農作業技術の普及」

<参 集> 行政、農業団体、民間企業、一般(どなたでも参加いただけます。)

<内 容>

1 挨拶

2 基調講演

「スマート農業の将来構想と課題」(仮称)

農林水産省生産局農産部技術普及課

課長補佐 齊賀 大昌 氏

3 講演(研究取組状況)

「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的緊急展開事業試験研究」及び
「北海道農業関係試験研究成果」

(1) 「道産米の国際競争力強化と持続的輪作体系の両立に向けた実証」

～ ICTを活用した次世代省力作業技術の実証等

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

北海道農業研究センター

上席研究員 村上 則幸 氏

(2) 「寒地畑作地域における省力技術体系とICT活用を基軸としたスマート農業モデルの実証」

～ 生産性向上のためのICTを活用した高精度作業支援技術の実証

独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構

北海道農業研究センター芽室研究拠点

上席研究員 澁谷 幸憲 氏

(3) 「IT農業インフラとしてのインターネット接続による高精度位置情報を活用する大規模・省力化推進ネットワークの実証」

NTTデータカスタマサービス株式会社北海道支社営業統括本部

部長 渡邊 泰夫 氏

(4) 「精密可変施肥システム、および可変施肥対応型散布量制御装置の開発」

株式会社IHIスター 開発部IT・制御システム課

課長 森 素広 氏

<申込方法> 平成27年3月19日(木)までに、Eメール、FAXまたは郵送でお申込ください。

(1) Eメール: takahashi.masami2@pref.hokkaido.lg.jp

(2) FAX : 011-232-1091

(3) 郵便 : 〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
北海道 農政部 技術普及課 高橋